

は っ く っ 発掘だより 第17号

2006. 3

やかた あと ちようさ
館跡第11次調査で・・・

え い ろ く
永禄

い ぶ っ すごい遺物発見 そ と ぼ 年号入りの卒塔婆出土

卒塔婆ってなーに？



く よう ため ぼ ち れいじよう
死者の供養の為に墓地や霊場に立
てられる木製の供養塔の事をい
います。

そ と ぼ ほり あと
今回この卒塔婆は濠跡から出土
したもので供養したのち濠に流さ
れたものと思われます。

じようたい
とてもきれいな状態で出土して
いています。

い ぶ っ
日付が残っている遺物が出土す
るのは初めてです。



我々
願
以
此
功
徳
普
及
於
一
切
我
等
与
衆
生
皆
供
成
仏
道

願以此功德普及於一切
敬
乃至法界平等利益
右為者文(？)泉靈等菩提也
永禄十年五月廿四日 白

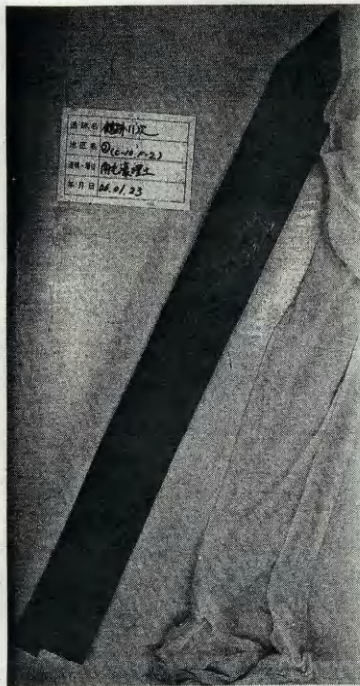
永禄十年記入の卒塔婆出土

藍住 和歌や花押彫った硯も

戦国時代の武将・三好氏の本拠地だった「勝瑞城館跡」(藍住町勝瑞)の「永禄十年五月廿四日」と書かれていた。永禄十年は畿内に進出した三好氏に代わって松永氏(松永氏)が台頭した時期で、織田信長が上洛する前年。勝瑞城館跡はこれまで出土品などから1550〜80年ごろの遺構と考えられていたが、今回の発見で67年には存在していたことが確認された。硯は長さ8・3センチ、幅4・7センチ。和歌のほか、「古松丸」から「主とく丸」へ贈ったとの文言と、古松丸の花押が彫り込まれており、高い地位の若者の間で贈られた物らしい。古松丸も主とく丸も幼名で、これまで文献などの記録にはなく、町教委は「誰のことが判明すれば、三好氏やその家臣団の構成、社会的背景を探る手がかりになる」としている。

発掘された硯

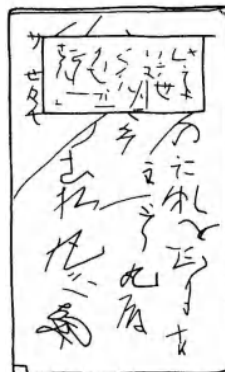
が、今回の発見で67年には存在していたことが確認された。硯は長さ8・3センチ、幅4・7センチ。和歌のほか、「古松丸」から「主とく丸」へ贈ったとの文言と、古松丸の花押が彫り込まれており、高い地位の若者の間で贈られた物らしい。古松丸も主とく丸も幼名で、これまで文献などの記録にはなく、町教委は「誰のことが判明すれば、三好氏やその家臣団の構成、社会的背景を探る手がかりになる」としている。



「永禄十年」と記された卒塔婆

2006/03/07 読売新聞

裏に文字のきざまれた硯



此 □ よ	う き 世	か な 月	を □
これを正月十日	主とく丸殿	古松丸□(花押)	

他にも、かわらけ、金属類、木製品などが出土しました。もっと、もっと載せたいけど、載せきれません。ごめんなさい興味のある方はぜひ発掘現場まで見に来てね

madamu reiko



あいずみちよう 藍住町教育委員会 社会教育課 勝瑞城館跡発掘現場事務所

TEL・FAX(088)641-3466 URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>

